

第11回マニフェスト大賞

最優秀マニフェスト賞を受賞!

平成28年11月11日、六本木ヒルズにて『第11回マニフェスト大賞・授賞式』が開催されました。今年も全国から2514件の様々な政策提言やマニフェストの取り組みの応募がありました。マニフェスト賞議会部門は5件の優秀賞に絞られ、この日は最優秀賞が塚本壽雄早稲田大学公共経営大学院教授から発表され、黒川まさる横浜市議が最優秀マニフェスト賞を受賞しました。議会部門で個人が受賞するのは初めてです。

選挙に向けてアンケートで区民ニーズをつかみ、それを元に地域別・テーマ別に成果・課題・将来像を示したマニフェスト『愛する金沢再生プラン3』を作成。横浜市政においては『よこはま自民党マニフェスト 責任と約束』を発信。50枚に及ぶパワーポイントの説明資料をボードにして駅頭や商業施設の前などで指差し棒を使って解説・プレゼンテーションを繰り返したそうです。



パネルを活用した演説も好評でした



最優秀賞の受賞は予期してなかったそうで受賞スピーチは全く覚えていないそうです

商店街活性化ビデオでのダンス動画の発信、100ページを超える政務調査レポートの毎年の発刊、ネットやSNSでの発信も評価されました。

黒川市議は「同じ志の全国の仲間から刺激を受けて私のマニフェストは作成できました。この受賞を励みに横浜市政と議会を進化させてまいります。」と喜びを語りました。



最終プレゼンテーション

審査委員の塚本壽雄早稲田大学教授は「選挙ごとのマニフェストのブラッシュアップやパネル作戦など、多岐にわたる活動が評価された。横浜市の議会改革の中心人物である黒川議員の先進的な活動に今後も期待したい」と講評を述べられました。



恩師の北川正恭審査委員長と



チカラを結集して地方議会を変えていきます

全国2514件の応募の中から最優秀賞を受賞!

マニフェスト大賞最優秀賞の受賞者として毎日新聞社から取材を受け、全国版に大きく記事として取り上げられました。これからは政策本位の政治を目指して、市民の声をしっかり横浜市政に反映し、子供たちの将来のために働いていきたいと、黒川まさる市議は力強く語ってくれました。



黒川市議 地域密着でニーズ アンケートで課題、将来性示す

黒川市議は市議選で、支持する政策を問わず、地元の金沢区の街頭などで「愛する金沢アンケート」を行ってニーズをつかみ、市や区よりも細かな地域別のマニフェストを作った。打ち出したのは、焼失した文化遺産の再整備のあり方から地元の動物園の

黒川市議は市議選で、支持する政策を問わず、地元の金沢区の街頭などで「愛する金沢アンケート」を行ってニーズをつかみ、市や区よりも細かな地域別のマニフェストを作った。打ち出したのは、焼失した文化遺産の再整備のあり方から地元の動物園の



《審査員講評》

横浜自民党として会派マニフェストを推進する一方、金沢区においては地域密着型の個人マニフェスト『愛する金沢再生プラン3』を作成した。選挙の際には500部のアンケートを回収し区民ニーズを収集。政策を継続させながら少しずつ政策テーマを増やした。

「現状」「成果」「目標」を紙資料やネットで分かりやすく公開。パワーポイントやパネルを活用し、街頭演説や動画配信などで政策の解説を積極的に行っており、先進事例の宝庫と言えるだろう。

市民に関われたわかりやすい政治を目指す、黒川まさる横浜市会議員に期待、要望、激励、メッセージなどをお寄せください。

.....

.....

.....

.....

.....

全国各地で講演・講義を行いました

昨年2月に那覇市での議員研修会で黒川まさる市議は『議員提案条例の制定で議会・行政・市長・市民がどう変わったのか』と題して30分間の講演を行いました。

同月、日本生産性本部の自治体トップフォーラムでは40分の講演の後、北川正恭早稲田大学名誉教授、泉房穂明石市長らと1時間のパネルディスカッションに参加しました。

8月には早稲田大学日本橋キャンパスで『マニフェスト大賞の10年』というパネルトークと『熊本大地震視察報告』を行いました。

10月には関東学院大学で『マニフェスト大賞と善政競争』と題して

90分の講義を学生に行いました。

1月には金沢小学校で横浜サンディエゴ友好委員会委員として5年・3年生の児童に授業を行いました。

黒川市議は新しい地方議会の在り方を全国各地で発信しています。



お名前
連絡先

返信FAX 045-786-4310
masaru-k.net@hb.tp1.jp